

学ボラだより

第10号

学校でチャイボラ

出来る人が・出来る時に・楽しく

夏休みは楽しめた？

みなさん、夏休みを楽しめましたか。

海水浴(かいすいよく)、登山(とざん)、旅行(りょこう)など家族といっしょに、または友達といっしょにいろいろな遊びをして楽しんだことでしょうか。

学校ではボランティアのたちが開いてくれた「わくわく活動」もありました。いくつ参加



(さんか) できましたか。

一学期(にがつき)にも運動会、遠足、マラソン大会などいろいろな事がよいていされています。インフルエンザなど病気(びょうき)にかからないように手を洗う、うがいをする、マスクをして一人一人が予防(よぼう)をして毎日楽しく勉強(べんきょう)をしてください。

学習ボランティアの人たちも応援しています。

活動報告

一学期のボランティア

五月一日

ボランティアデー



五月二十七日

三年生戸神山遠足



六月九日

五年生尾瀬学校

六月十三・十四日

サルビアの移植

六月十四日

緑のカーテン設置

六月十五、十六日

五年生家庭科サポート

七月一日

一年生親子給食

二年生街中探検

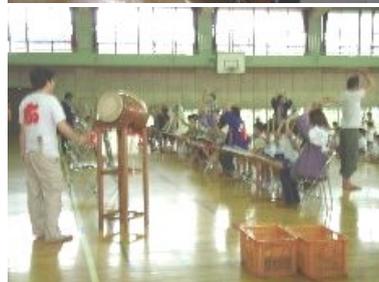
四年生環境活動



七月三日

お囃子指導

保護者奉仕作業



新学期が始まりました

インフルエンザに気をつけて

残暑の残る八月二十五日、二学期が始まりました。

しかし、今年の様子は少し違っているようです。新型インフルエンザの感染が始まったのが春、一旦は終息するかと思われていましたが、何と夏になって急速に感染が拡大し全国各地で特に未成年者の感染が多かったことはすでにご存知のところだと思います。

冬に広まると思われていたインフルエンザですが今年夏から新型が猛威を振り始め十月頃には感染のピークになると、国立感染症研究所では予想しています。

では、どうしたら感染を予防できるのでしょうか。

もう当たり前に言われているように家族全員が手洗い、うが

い、マスクの着用に始まり、家庭内の消毒、感染が予想される場所への外出の自粛など決め細やかな配慮が必要でしょう。

東小の児童から新型インフルエンザの感染者が出ないように家庭、地域が一丸となって予防に努めていきましょう。



うどんは好きですか

新聞に水沢うどんについての話題が出ていました。

《水沢うどんは日本三大うどんに数えられるながらも香川県讃岐うどん、秋田県の稲庭うどんはマスコミで取り上げられ、看板を掲げる店が全国に増殖。乾麺の稲庭も専門店があったり、料亭のしめの品に使われるなどなじみがある。》

これに対して四百年の歴史を誇る水沢は門外不出で渋川市の水沢寺沿道に十三軒あるのみ。「水沢風」はあっても、本物は現地に行かないと食べられない。

かつては現地に行かなくては口にできなかった郷土料理の店が続々都内に集まる中で、こんな頑固さがあってもいいが一箇所くらいは他の地にあってもいいのではないか・・・うどん好きは願っている。」

「あちこちで『水沢うどん』という字を見て相当数出回っているものと思いついていましたから本物は水沢でしか食べられないということを知り意外でした。夏わくの『うどん作り（七月二十八日）』ではその水沢のうどん粉を使って正に水沢風うどん作りに挑戦しました。」



学校近くのご婦人十五人が講師をしてくれ、当日はだし汁やかき揚げも用意してくださるなど本格的なものでした。

養護学校でもうどん作りに挑戦

榛名養護学校沼田分校

七月七日、榛名養護学校分校で地域の方の指導によるうどん

作りを中学部の生徒と先生が体験しました。左記は分校の石田先生からの報告です。

『当日は、吉沢さん、大竹さん、井田さん、高橋さんの四人が来てくださいました。』

来てくださった四人の方も大喜び。関係の無い小学部の子供たちも先生もおすそ分けを頂き大満足でした。

サトル君は「井田豆腐のおばさんだ」と大喜び。次は十六日に自分たちで作るんだと張り切っていました。「大きくなったらうどんやさんになる」と夢をふくらませていました。

粉をこねる、棒で伸ばす、切るなど本格的に指導してもらい感謝しています。

自分たちで作ったうどんは給食の時間に指導してくださった方と一緒に食べました。味はもちろん格別でした。』

榛名養護学校うどん作り感想

吉沢ヨシ子（上原町）

あつ、いいですよなんて気軽に返事をしてしまいました。結局一人では何も出来ず応援をお願いしてやってみることにしました。

家で何回か練習をして七日の当日に備えました。先生方や子供たちの協力により、つるつるシコシコのおいしいうどんが出来ました。

おいしそうな汁のにおいと釜

あげうどんの試食でみなさん給食が待ちどおしいようです。うまく出来るか心配でしたがおいしいうどんを作るといふ気持ちはみんな同じです。無事に終わってほっとしました。

今回うどん作りに参加させていただき少しだけの協力ですがボランティアの楽しさを知りました。



子供の大人化・・・？

ベネッセ教育研究所が全国の小学五年生から高校二年生までを対象にした「生活時間の実態と意識調査」をしたそうです。

その回答の中で57%が日々の生活が忙しいと感じ、54%が睡眠時間を増やしたいと思っていることが分かったそうです。

また、小学生では49%が「忙しい」と感じ52%が「疲れやすい」と回答したそうです。

さらに睡眠時間では小学五年生の8時間36分に対し、高校二

年では6時間32分だったそうです。調査をした教授によれば「子供の大人化が進んだのでは」とのことでした。皆さんの家庭ではいかがですか。

これからのボランティア

学校でチョイボラ！ 出来る人が・出来る時に・楽しく。

学校敷地内、教室内、児童の引率などのボランティアをその都度お願いしていきます。

ちよつとした時間の空く時に児童の様子を見ながらサポートをしてくださると大変助かります。

九月二日、九日

五年生ミシン教室

九月十六日

将棋クラブの相手

十月一日

四年生玉原遠足引率



この他に、サルビアの種取、固定遊具の補修作業もあります。

※ 詳しくは、ボランティアコーナー「デイネーター」もしくは学校まで問い合わせてください。

大運動会

9月12日に運動会が開催されます。

入場行進は8時30分から始まります。日頃の練習の成果、グラウンドをたくましく走り回るお子さんを是非応援してください。



学習ボランティア地域センター連絡先

沼田東小学校学習支援センター内 電話 23-1118

学習ボランティア担当 小曾根理佳子

学ボラだより 第10号 発行 平成21年9月1日

発行責任者 東小学校学習ボランティアコーディネーター

相良賢一

電話 070-5071-9962

大竹秀子

電話 090-5413-6130